

岡山議員の質問②

産業振興として 新むつ小川原開発用地の有効活用について

吉川村長 の回答

本村の基幹産業となっており、農業においては、国の水田農業構造改革推進の対応で、米以外の作目の転換も余儀なくされ、地域の特性を生かした野菜、畑作、畜産の比重が高まってきております。

その野菜、畑作、畜産であります。輸入自由化の流れや、産地間競争の激化、デフレ傾向による価格低迷並びに食の安全・安心そして健康志向に対する消費者ニーズの対応で、厳しさが増している状況となっております。

農業においてはこのような時代の変化に対応するため、有機農法の取り組みがなされているところであり、村

ではその積極的な推進を図る観点から、土壤改良資材助成事業等の実施や耕畜連携農業の推進を柱とした、環境保全型農業システムの構築に向けて鋭意努力しているところであります。

特に、野菜、畑作においては、安定した生産量・品質を確保する上で連作障害の回避は必須要件となっており、農家から作付けに適した新たな用地として、新むつ小川原株式会社未利用地活用の要望が出てきております。

本村においては、むつ小川原開発が推進されており、これまで国家石油備蓄基地や原子燃料サイクル施設等が立地し、地域振興に大きく寄与してきたところであります。現在、新むつ会社が工業用地や緑地等として、概ね2千7百ヘクタールの土地を保有しているところがあります。

このような状況を踏まえて、農協、新むつ会社、村の関係者で昨年からの協議を重ねてきたところであります。しかしながら農家が借地するにあたっては、造成費用の負担問題等課題も多くあることから、さらに関係者が検討していかなければならないものと思っ

おります。

村と致しましても、農業情勢が厳しい状況にあることから、安定した農業経営に資するため、新たな農地の確保が重要であるとともに、開発用地への企業立地が遅延している状況から、むつ小川原開発用地の農地への活用について、積極的に新むつ会社へ働きかけていく所存でありますので、よろしくご理解くださるようお願い致します。

追記

岡山議員がこれら2つの事業の実施時期について再質問したところ、来年度実施の見込みであるとの回答を頂戴しました。早期実現に向かって頑張って頂きたいと思っております。

